

# 本業の稼ぐ力の改善

ヤマシンフィルタ株式会社

2024年3月期第1四半期

決算説明資料

2023年8月4日

- 北米中心に建機市場は堅調に推移し増収を達成。適正価格を目指した価格転嫁を実施したものの、原料高・セールスマックスの影響により減益。

## 建機用フィルタ事業（事業環境）

市場

日本

北米

アジア

欧州

中国

↑ 建機の稼働時間と  
新車需要は堅調に推移

↘ やや  
軟調 ↘ 低調

原材料・物流価格

高騰

エネルギーコスト

高騰

## エアフィルタ事業（事業環境）

オフィスビル等の交換需要は回復

CO<sub>2</sub>削減や産業廃棄物削減といった環境課題のもと

製品の高い競争力・信頼性を活かし

ビジネスの拡大を図る

2024年3月期  
第1四半期  
業績動向

連結売上高：**43億2百万円**

前年同期比：**3.2%増収**

連結営業利益：**1億12百万円**

前年同期比：**20.1%増益**

※自己資本比率：**80.4%**

建機用フィルタ	前年同期比	2.2%増収	36億9百万円	中国・欧州市場はやや軟調に推移するものの、北米市場を中心に建機の稼働時間と新車需要は堅調に推移
エアフィルタ	前年同期比	8.7%増収	6億92百万円	

# ESG 投資指数

## 「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」

### 構成銘柄に初選定

#### FTSE Russell とは？

各セクターにおいて相対的に、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスで、セクター・ニュートラル<sup>※1</sup>となるよう設計されたインデックス。

また低炭素経済への移行を促進するため、特に温室効果ガス排出量の多い企業については、TPI 経営品質スコア<sup>※2</sup>により改善の取り組みが評価される企業のみで構成。

本インデックスは、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の ESG 投資におけるパッシブ運用ベンチマークとして採用されている。

※1 業種の偏りが発生することを避けるため、親インデックスである FTSE Japan All Cap Indexの業種比率を考慮し構成銘柄を選定。

※2 低炭素経済を推進するために 2017 年に設立されたイニシアチブ「Transition Pathway Initiative (TPI)」が、企業の温室効果ガス排出量および低炭素への移行に関連するリスクと機会の管理の質を評価したもの。

I

2024年3月期第1四半期実績及び2024年3月期通期見通し

P4

II

市場を取り巻く環境

P25

III

今後の戦略

P37

# 決算

## I 2024年3月期第1四半期実績及び 2024年3月期通期見通し

# 2024年3月期 第1四半期業績 (2023年4月-6月)

	2023/3期 Q1 実績		2024/3期 Q1 実績		前年同期比	
	金額 (百万円)	金額 (百万円)	金額 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率	
売上高	4,169	4,302	132	3.2%		
建機用フィルタ※	3,532	3,609	76	2.2%		
エアフィルタ	636	692	55	8.7%		
営業利益 (セグメント利益)	94	112	18	20.1%		
建機用フィルタ	93	63	△29	△32.1%		
エアフィルタ	0	49	48	5,464.3%		
<b>営業利益率</b>	<b>2.3%</b>	<b>2.6%</b>	<b>0.4Pt</b>			
経常利益	57	95	37	66.1%		
<b>経常利益率</b>	<b>1.4%</b>	<b>2.2%</b>	<b>0.8Pt</b>			
四半期純利益	12	19	7	62.2%		
<b>四半期純利益率</b>	<b>0.3%</b>	<b>0.5%</b>	<b>0.2Pt</b>			
為替レート (円) (期中平均値)	USD	129.6	137.4	7.8	6.0%	
	EUR	138.1	149.5	11.4	8.2%	

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

(単位：百万円)

	2023/3期 末	2024/3期 Q1末	増減額	増減率
<b>流動資産</b>	12,923	13,533	609	4.7%
現金及び預金	4,113	4,851	737	17.9%
受取手形及び売掛金	4,446	4,386	△ 60	△ 1.4%
棚卸資産	4,141	4,044	△ 96	△ 2.3%
その他	221	250	29	13.2%
<b>固定資産</b>	12,658	12,549	△ 108	△ 0.9%
有形固定資産	11,683	11,572	△ 111	△ 1.0%
無形固定資産	172	171	△ 1	△ 0.6%
投資その他資産	801	804	3	0.4%
<b>資産合計</b>	25,581	26,082	500	2.0%

	2023/3期 末	2024/3期 Q1末	増減額	増減率
<b>流動負債</b>	3,343	3,971	628	18.8%
支払手形及び買掛金	1,453	1,601	148	10.2%
短期借入金及び 1年内返済予定 長期借入金	683	1,003	320	46.8%
その他	1,206	1,367	160	13.3%
<b>固定負債</b>	1,260	1,142	△ 117	△ 9.4%
長期借入金	722	622	△ 100	△ 13.9%
退職給付に係る負債	257	259	2	0.8%
その他	280	261	△ 19	△ 6.9%
<b>純資産合計</b>	20,977	20,967	△ 9	△ 0.0%
<b>負債・純資産合計</b>	25,581	26,082	500	2.0%

自己資本比率

82.0%

80.4%



	2023/3期	2024/3期	前年同期比	
	Q1 実績	Q1 実績	増減額 (百万円)	増減率
	金額 (百万円)	金額 (百万円)		
建機用フィルタ	3,136	3,266	130	4.2%
ライン品	1,299	1,545	246	19.0%
補給品	1,837	1,721	△115	△6.3%
産業用フィルタ	185	169	△15	△8.6%
プロセス用フィルタ	211	173	△37	△17.9%
建機用フィルタ 合計	3,532	3,609	76	2.2%
エアフィルタ	636	692	55	8.7%
売上高合計	4,169	4,302	132	3.2%

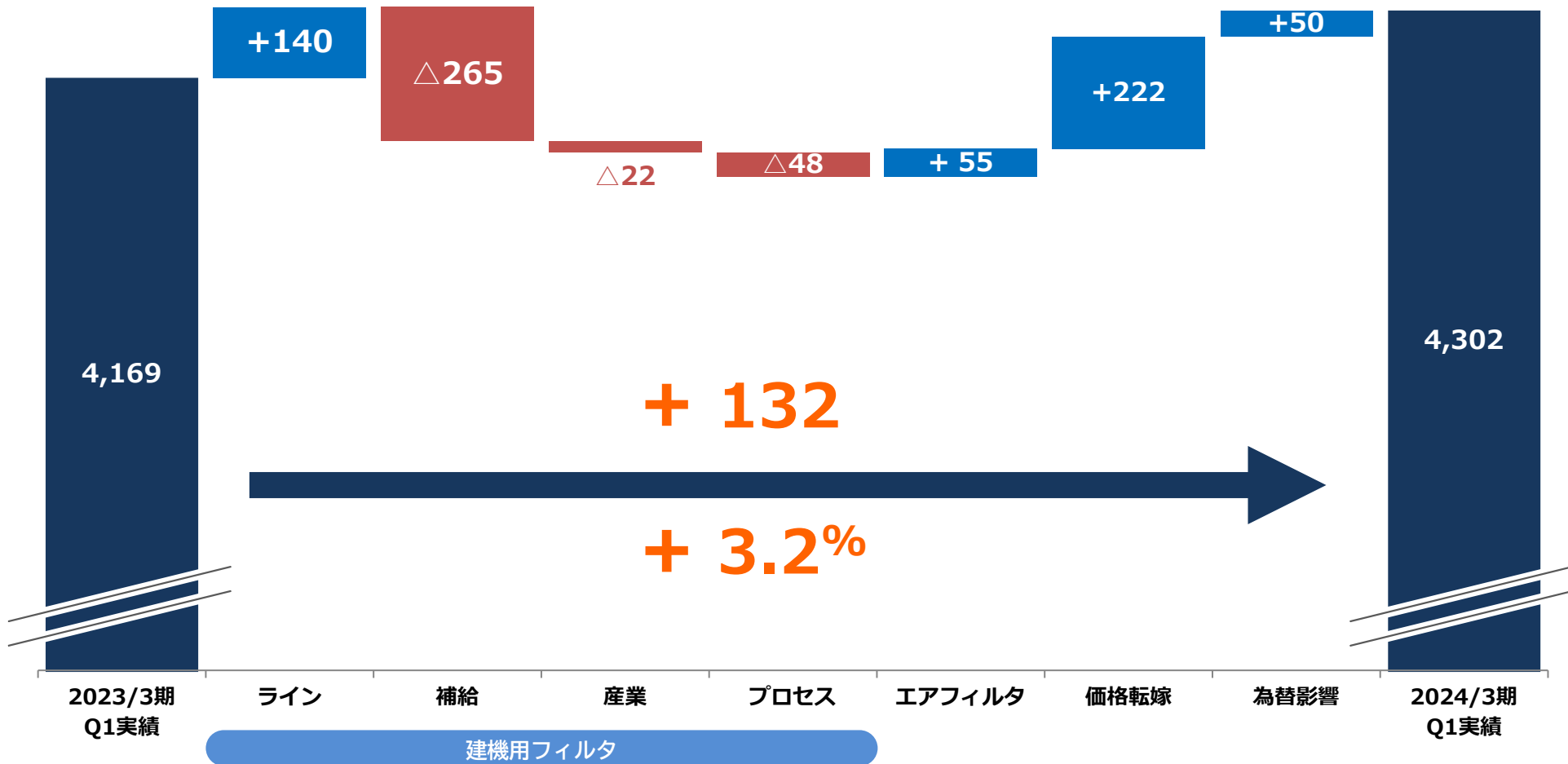
	2023/3期 Q1 実績		2024/3期 Q1 実績		前年同期比	
	金額（百万円）	構成比	金額（百万円）	構成比	増減額（百万円）	増減率
建機用フィルタ※	3,532	84.7%	3,609	83.9%	76	2.2%
国内	1,840	44.1%	1,711	39.8%	△128	△7.0%
北米	660	15.8%	585	13.6%	△74	△11.3%
中国	268	6.4%	405	9.4%	136	50.7%
アジア	334	8.0%	475	11.1%	140	42.1%
欧州	426	10.2%	431	10.0%	4	1.1%
その他（中東他）	2	0.0%	0	0.0%	△1	△85.6%
エアフィルタ（国内）	636	15.3%	692	16.1%	55	8.7%
売上高合計	4,169	100.0%	4,302	100.0%	132	3.2%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

\* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

# 売上高の増減要因 (2023/4-6)

(単位：百万円)

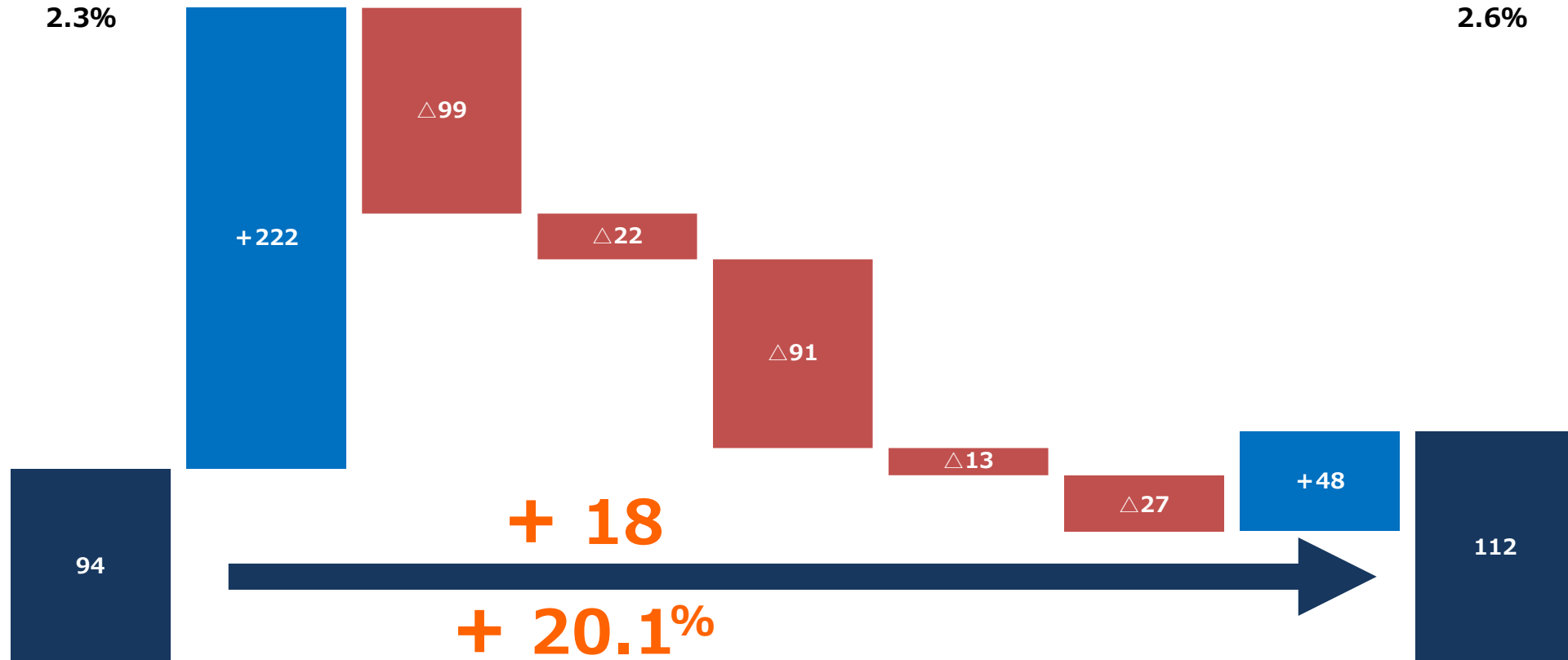


# 営業利益の増減要因 (2023/4-6)

(単位：百万円)

営業利益率  
2.3%

営業利益率  
2.6%



営業利益  
2023/3期Q1  
実績

[建機]  
価格転嫁  
に伴う増益

[建機]  
販売数量減少  
に伴う減益

[建機]  
材料費高騰  
に伴う減益

[建機]  
人件費その他  
販管費増加  
に伴う減益

[建機]  
為替影響  
に伴う減益

[建機]  
その他

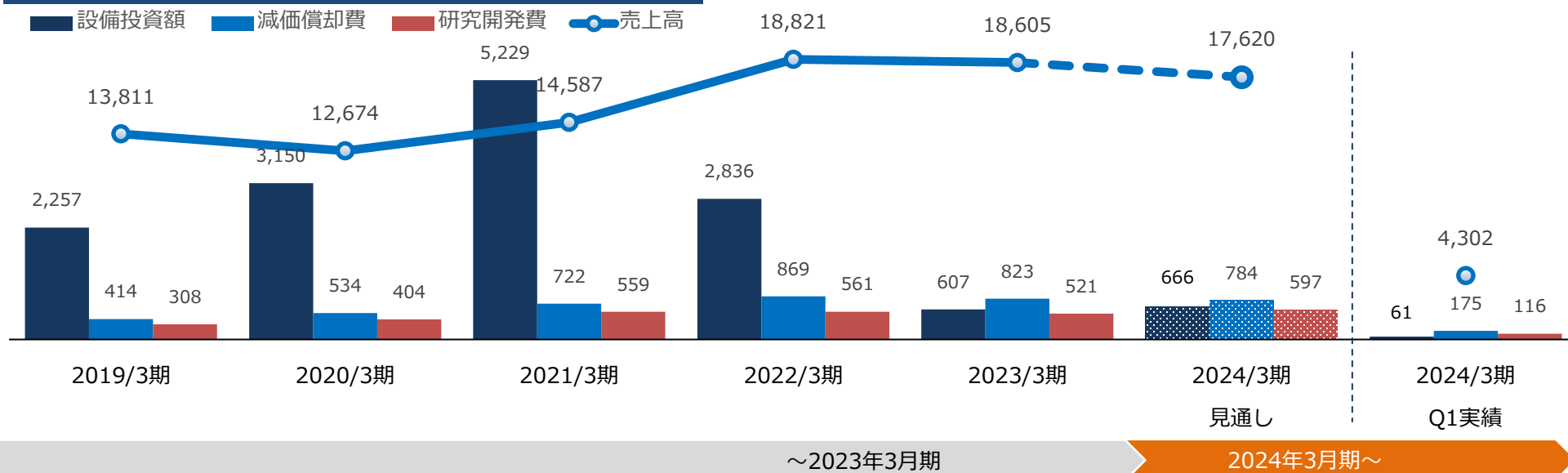
[エアフィルタ]  
価格転嫁及び  
原価改善  
に伴う増益

営業利益  
2024/3期Q1  
実績

# 設備投資額、減価償却費及び研究開発費推移

単位   百万円	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2024年3月期
	実績	実績	実績	実績	実績	見通し	Q1 実績
売上高	13,811	12,674	14,587	18,821	18,605	17,620	4,302
設備投資額	2,257	3,150	5,229	2,836	607	666	61
土地・建物	-	1,588	2,682	3,194	34	24	1
その他設備投資	816	669	468	2,036	573	642	60
<b>売上高比率</b>	<b>16.3%</b>	<b>24.9%</b>	<b>35.9%</b>	<b>15.1%</b>	<b>3.3%</b>	<b>3.8%</b>	<b>1.4%</b>
減価償却費	414	534	722	869	823	784	175
<b>売上高比率</b>	<b>3.0%</b>	<b>4.2%</b>	<b>5.0%</b>	<b>4.6%</b>	<b>4.4%</b>	<b>4.5%</b>	<b>4.1%</b>
研究開発費	308	404	559	561	521	597	116
<b>売上高比率</b>	<b>2.2%</b>	<b>3.2%</b>	<b>3.8%</b>	<b>3.0%</b>	<b>2.8%</b>	<b>3.4%</b>	<b>2.7%</b>

## 売上高及び設備投資額・減価償却費・研究開発費の推移



生産技術・管理・システムの総合的な改善を実施し、利益体制の強化を図る

**PAC23**



**P**romptly  
迅速



**A**ctivated  
かつ効果的な



**C**ost reduction  
コスト削減計画

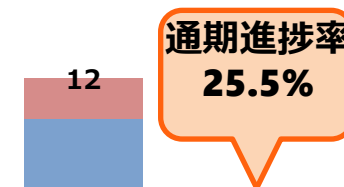
20

**23**

■ 削減目標・実績金額

単位：百万円

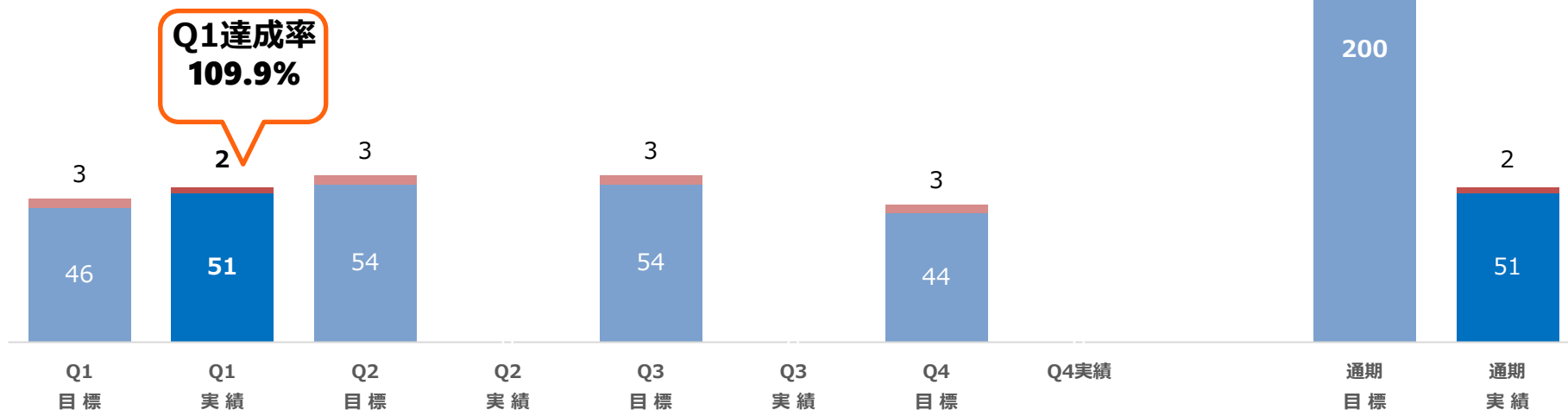
		Q1 目標	Q1 実績	Q2 目標	Q2 実績	Q3 目標	Q3 実績	Q4 目標	Q4 実績	通期 目標	通期 実績
PAC23	製造原価	46	51	54		54		44		200	51
	販管費	3	2	3		3		3		12	2
合計		49	54	58		57		48		212	54



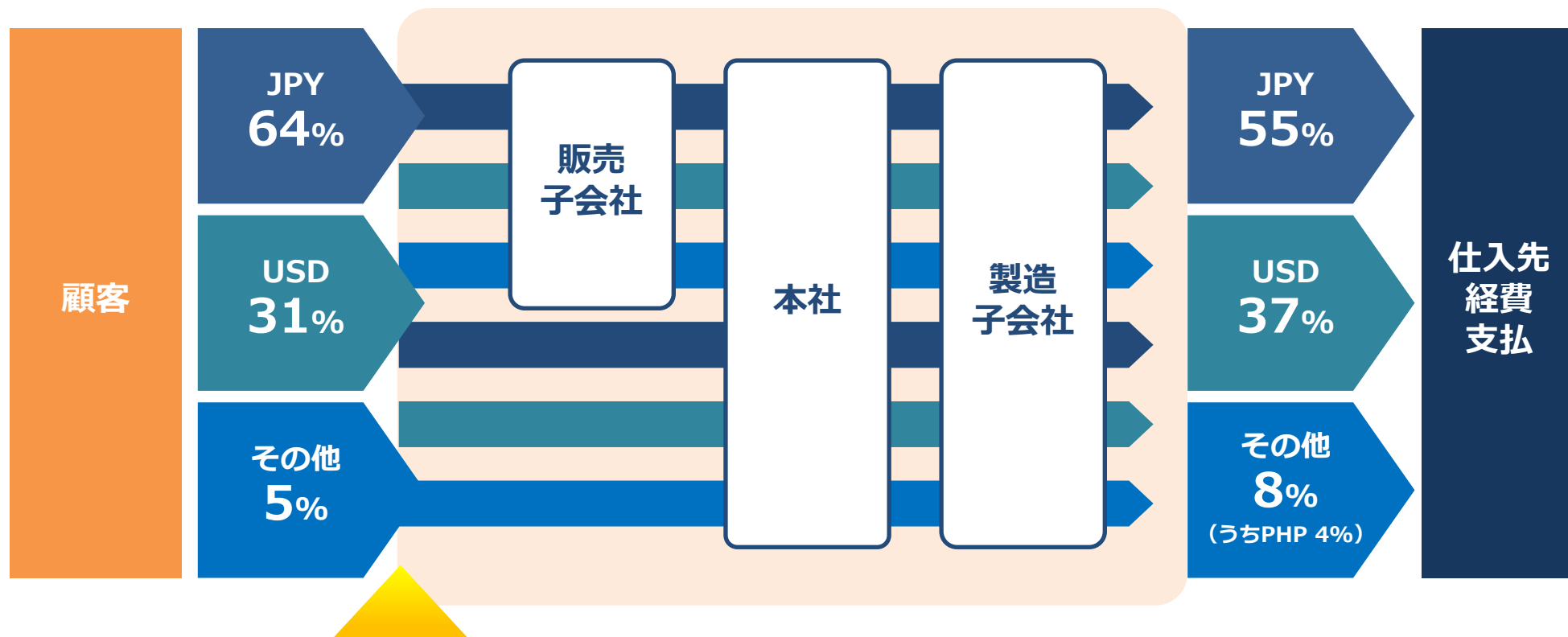
■ 進捗状況

■ 製造原価 ■ 販管費

(単位：百万円)



円安進行により約13百万円の営業利益へのマイナス影響



取引通貨の7割はJPY

- 為替が1円円安になった場合の営業利益影響額は約2百万円減益（2023年4月-6月）
- 為替マリー強化を図る

管理部門にとどまらず、現場にまで企業価値向上の目標数値を落とし込む





## Key Goal Indicator (KGI)

## Key Performance Indicator (KPI)

## Key Success Factor (CFS)

## 責任部署

## 24.3期部門目標 (action plan)

## 24.3期進捗

※KPI算定の前提

Prv : 2023/3期 通期実績

Cur : 2024/3期 通期見通し

### 売上高営業利益率

Prv: 6.6%  
Cur: 3.4%

### 売上総利益率

Prv: 39.3%  
Cur: 39.9%

### 売上原価率

Prv: 60.7%  
Cur: 60.1%

### 減価償却費率

Prv: 4.4%  
Cur: 4.5%

### 販管費率

Prv: 32.7%  
Cur: 36.5%

### 人件費率

Prv: 14.7%  
Cur: 17.5%

### 売上債権回転率

Prv: 4.1  
Cur: 3.7

### 運転資本回転率

Prv: 2.7  
Cur: 2.5

### 棚卸資産回転率

Prv: 4.2  
Cur: 4.4

### 仕入債務回転率

Prv: 5.4  
Cur: 6.3

### 有形固定資産回転率

Prv: 1.6  
Cur: 1.5

### 固定資産回転率

Prv: 1.5  
Cur: 1.4

### 無形固定資産回転率

Prv: 90.8  
Cur: 90.9

ROIC  
Prv: 3.1%  
Cur: 2.1%

WACC  
Prv: 7.5%  
Cur: 7.5%

ROE  
Prv: 3.1%  
Cur: 2.2%

ROA  
Prv: 2.5%  
Cur: 1.7%

### 投下資本回転率

Prv: 0.8  
Cur: 0.8

新製品開発  
純正率向上

営業・開発

- ・価格転嫁推進
- ・建機: 主要顧客シェア拡大(ロングライフ、センサ)
- ・建機: 中国企業への参入拡大・加速
- ・エアフィルタ: 新製品 (NanoWhelp) による販売拡大 (直販、国内外)
- ・新規事業領域への進出

- ・顧客との価格転嫁交渉継続
- ・ハイブリッドフィルタの各社進捗確認
- ・中国系建機メーカー向け新機種採用実績向上
- ・エアフィルタ新製品販売進展
- ・エアフィルタ業界向け供給継続進展 (脱タンク)

購買力強化  
歩留り改善

生産

- ・PAC23
- ・購買力強化、物流コスト低減
- ・生産管理の改善

- ・購買先の評価基準の見直しと集約実施完了
- ・共通購買(アクション)による調達コスト削減
- ・計画的な保守・保全実施による歩留まり改善、製造原価削減実行進展

投資計画

経営企画  
財務・経理

- ・M&A(収益拡大・経営安定化手段)
- M&A先企業の情報収集
- 不織布事業体買収(下流)
- 新素材開発企業買収(上流)

- ・国内外のM&Aデータの収集並びに潜在可能性あるM&A先とのコミュニケーションの強化(電話会議等)

テーマの絞り込み  
優先順位

開発

- ・新素材の開発(リサイクル、バイオマス等)
- ・IoTの取り組み
- ・エアレーション他技術開発
- ・開発段階からの原価低減

- ・ナノファイバー製エアフィルタ製品化加速
- ・各得意先各種センサー試験品供給
- ・産学連携による新素材開発の加速
- ・原価企画委員会によるVA・VE活動実施

最適な人員構成

人事・総務

- ・タレントマネジメント制度策定・運用

- ・次世代マネジメント層の発掘
- ・製品開発に向けた研究要員の増員
- ・事業再編にかかる職業専門家スタッフの採用

債権管理

営業  
財務・経理

- ・債権回収率の改善
- ・バーバレス化推進

- ・運転資金改善に向けた債権回収の効率化・合理化対応

適正在庫の設定

生産  
営業

- ・全社棚卸資産の圧縮

- ・棚卸資産のバレート分析に基づく適正在庫量の決定ならびに削減計画の実行中

債務管理

生産

- ・ワーキングキャピタル改善
- ・バーバレス化推進

- ・運転資金の改善に向けた債務支払い回転率の適正化

設備計画  
(R&D・生産)

経営企画  
総務・生産・開発

- ・投資回収効果最適化

- ・投資収益回収期間の妥当性分析による開発及びR&D投資、優先判断の実行

投資計画

経営企画  
財務・経理

- ・知財戦略の策定とアクションプランの作成

- ・戦略の作成と行動計画の立案及び関係者への研修強化
- ・中国市場での積極的の特許出願

# 2024年3月期 通期業績見通し

## 建機用フィルタ事業

- 中国市場は引き続き市況が低迷、各市場における建設機械市場の需要は前年を若干下回る水準で推移
- アルミや鋼材を中心とした主要原材料価格の高騰の継続、人的資本への投資の一環として給与水準の引き上げ実施による固定費増加
- 更なる価格転嫁の実行、設計開発段階での原価低減、原材料コストの削減、製造プロセスの改善、品質管理の更なる強化を進めることによりコスト削減を図る

## エアフィルタ事業

- 既存製品の交換需要の回復及び、ナノファイバー製エアフィルタをはじめとした高付加価値製品の展開により、オフィスビルや商業施設、工場等への採用に向けた取り組み進展
- 価格転嫁継続に加え、生産効率の改善を軸とした原価低減活動による収益性改善を見込む

		2022/3期	2023/3期	2024/3期	前期比 (百万円)
		実績 (百万円)	実績 (百万円)	見通し (百万円)	
売上高		18,821	18,605	17,620	△985
	建機用フィルタ※	16,244	15,945	14,820	△1,125
	エアフィルタ	2,577	2,659	2,800	140
営業利益		1,344	1,235	600	△635
	建機用フィルタ	1,467	1,150	510	△640
	エアフィルタ	△123	84	90	5
<b>営業利益率</b>		7.1%	6.6%	3.4%	△3.2Pt
経常利益		1,317	915	650	△265
<b>経常利益率</b>		7.0%	4.9%	3.7%	△1.2Pt
当期純利益		47	645	450	△195
<b>当期純利益率</b>		0.3%	3.5%	2.6%	△0.9Pt
為替レート (円)	USD	112.4	135.5	130.0	△4.0%
	EUR	130.6	141.0	140.0	△0.7%

※「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

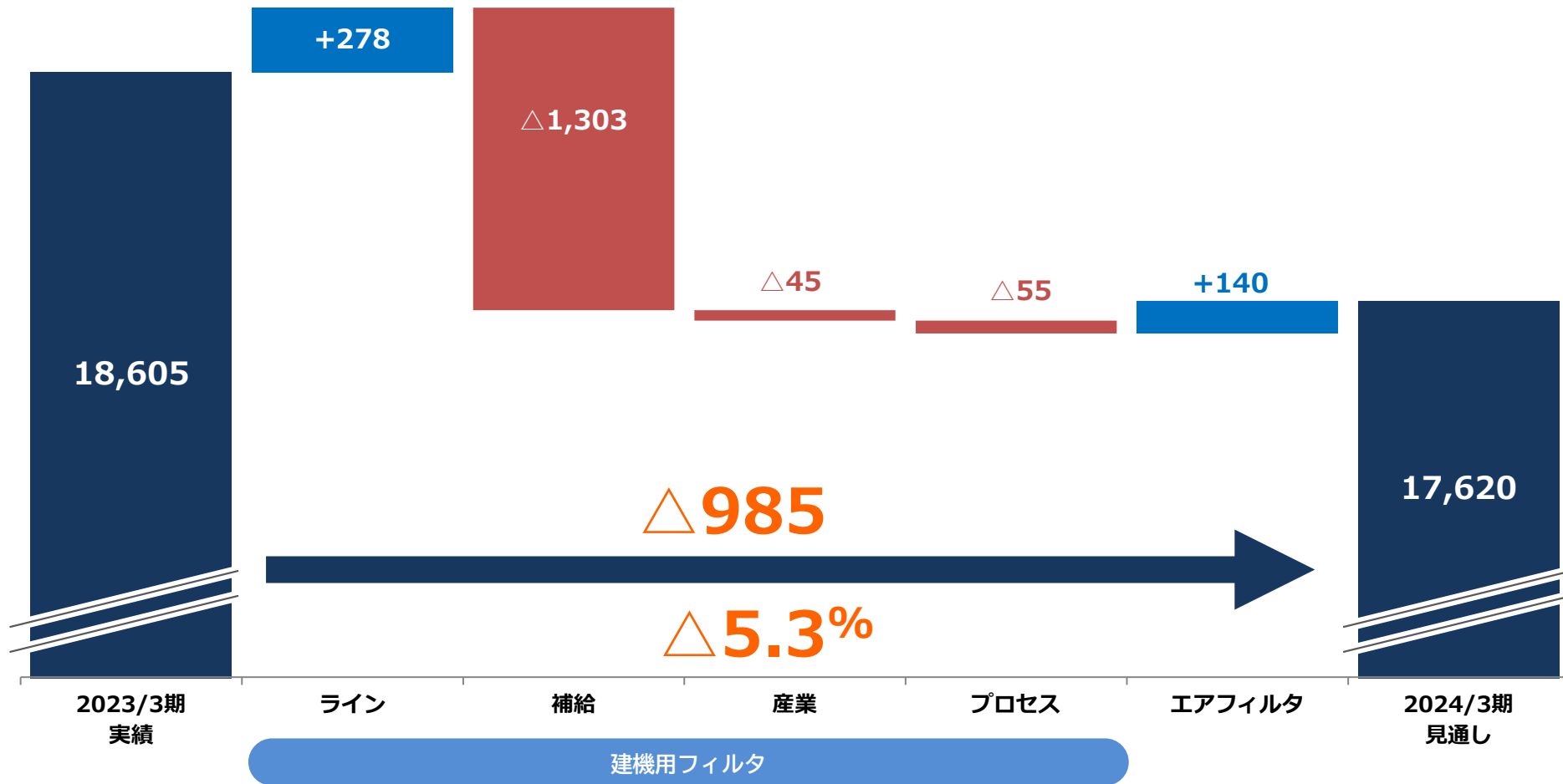
	2022/3期 実績		2023/3期 実績		2024/3期 見通し		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
建機用フィルタ	14,169	75.3%	14,328	77.0%	13,304	75.5%	△1,024	△7.2%
ライン品	5,633	29.9%	5,911	31.8%	6,190	35.1%	278	4.7%
補給品	8,536	45.4%	8,417	45.2%	7,114	40.4%	△1,303	△15.5%
産業用フィルタ	1,174	6.2%	749	4.0%	703	4.0%	△45	△6.1%
プロセス用フィルタ	900	4.8%	867	4.7%	812	4.6%	△55	△6.4%
建機用フィルタ 合計	16,244	86.3%	15,945	85.7%	14,820	84.1%	△1,125	△7.1%
エアフィルタ	2,577	13.7%	2,659	14.3%	2,800	15.9%	140	5.3%
売上高合計	18,821	100.0%	18,605	100.0%	17,620	100.0%	△985	△5.3%

	2022/3期 実績		2023/3期 実績		2024/3期 見通し		前期比	
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	増減額 (百万円)	増減率
<b>建機用フィルタ*</b>	16,244	86.3%	15,945	85.7%	14,820	84.1%	△1,125	△7.1%
国内	7,946	42.2%	7,980	42.9%	6,932	39.3%	△1,047	△13.1%
北米	2,939	15.6%	3,150	16.9%	3,172	18.0%	22	0.7%
中国	1,711	9.1%	1,380	7.4%	1,252	7.1%	△128	△9.3%
アジア	1,889	10.0%	1,698	9.1%	1,617	9.2%	△80	△4.7%
欧州	1,755	9.3%	1,729	9.3%	1,700	9.7%	△28	△1.7%
その他（中東他）	2	0.0%	6	0.0%	143	0.8%	137	2,105.1%
<b>エアフィルタ（国内）</b>	2,577	13.7%	2,659	14.3%	2,800	15.9%	140	5.3%
<b>売上高合計</b>	18,821	100.0%	18,605	100.0%	17,620	100.0%	△985	△5.3%

※ 「建機用フィルタ」には、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタを含んでおります。

\* 上記の地域別の数値は請求書送付先基準で集計しております。

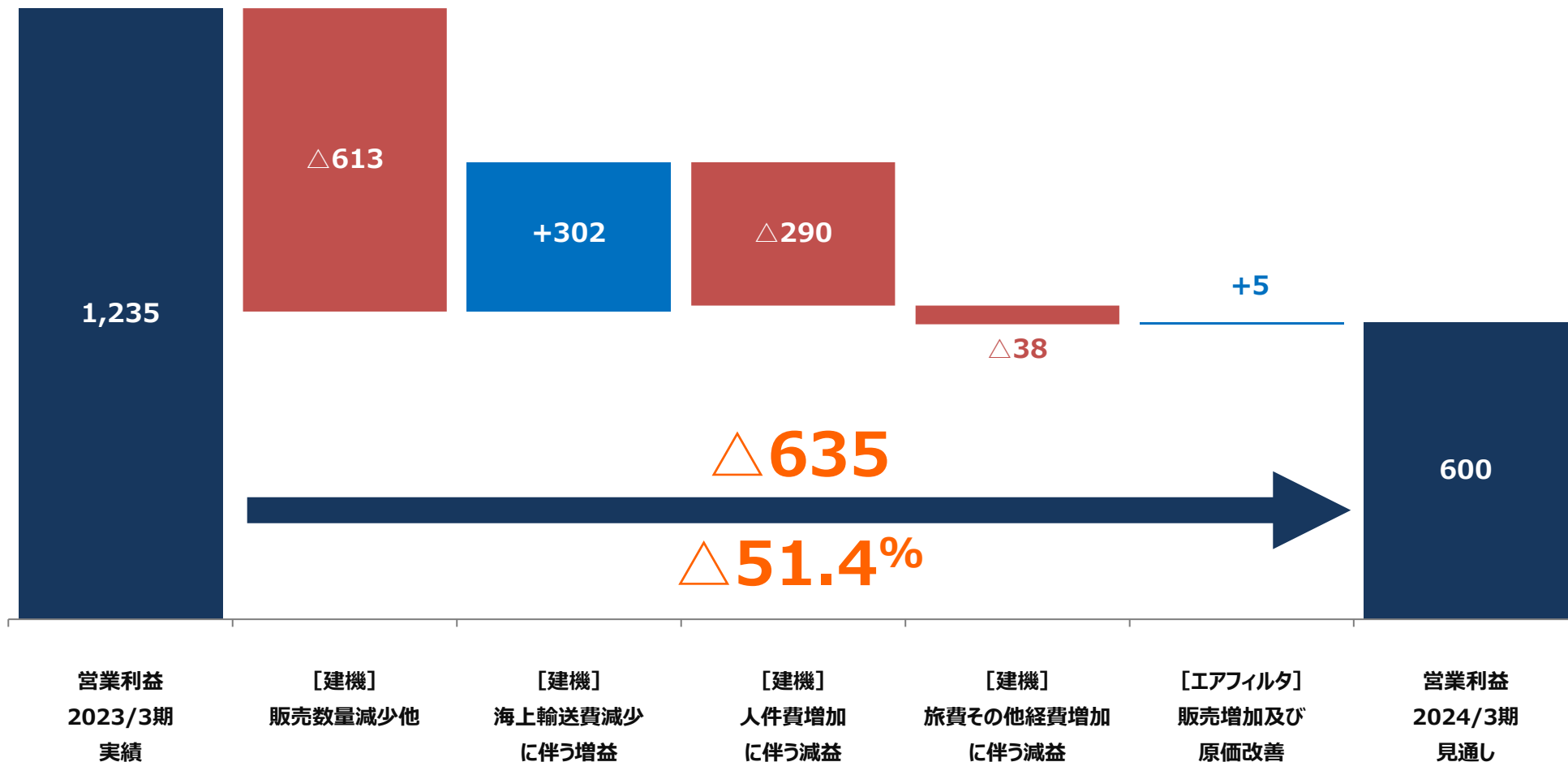
(単位：百万円)



(単位：百万円)

営業利益率  
6.6%

営業利益率  
3.4%





中間配当3.0円、期末配当3.0円の年間6.0円

	2021/3期	2022/3期	2023/3期	2024/3期 見通し
1株当たり 年間配当金	6.0円	6.0円	6.0円	6.0円
DOE <sup>※1</sup>	2.2%	2.1%	2.1%	2.1%
総還元性向 <sup>※2</sup>	59.3%	960.4%	75.6%	108.4%

※1 DOE（株主資本配当率）＝（年間配当総額÷株主資本）×100＝（ROE×配当性向）

※2 総還元性向＝{(配当金総額＋株主優待＋自己株式取得)÷親会社株主に帰属する当期純利益}×100

# 思

## Ⅱ 市場を取り巻く環境

“建機市場を取り巻く環境”

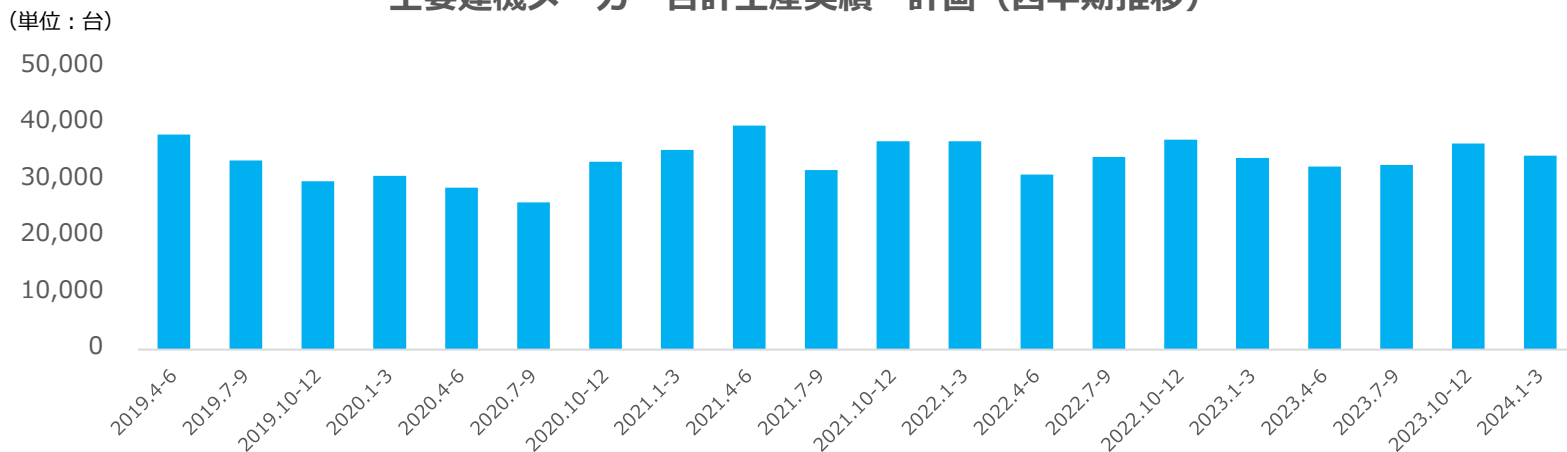
- 東南アジア市場では建設機械需要は減少傾向だが、鉱山機械需要は堅調を維持
- 北米市場は住宅需要は不透明ながら、インフラ等の需要維持で建機も堅調維持
- 中国市場は不動産需要の低迷により、依然として低調に推移

	2023/3 Q4	2024/3 Q1	今後の見通し
日本	物流コスト・原材料価格高騰の影響、円安傾向が継続しつつも建機の需要は堅調	原材料価格の高騰・円安が継続 物流コストは改善傾向 建機の需要は堅調に推移	エネルギー・原材料価格や物流コストの高騰により建機の需要は軟調
北米	建機稼働時間と新車需要は減少傾向ながら堅調に推移 物流コスト・原材料価格高騰が継続	エネルギーコスト・原材料価格の高騰 円安が継続・物流コストは改善傾向 建機の需要は堅調に推移	主要原材料価格高騰の影響が継続 建機稼働時間と新車需要は減少傾向
欧州	物流コストや原材料価格高騰の影響が継続しつつも減少傾向ながら堅調に推移	エネルギーコスト・原材料価格高騰の影響が継続・物流コストは改善傾向 需要は減少傾向	ロシア、ウクライナ情勢の深刻化により需要減の見通し 主要原材料価格高騰の影響が継続
アジア	インド、インドネシア中心に需要は堅調。物流コストや原材料価格高騰の影響が継続	エネルギーコスト・原材料価格高騰の影響が継続 需要は減少傾向	景気減速が予想され需要は軟調 主要原材料価格高騰の影響が継続
中国	市況の低迷継続により新車の販売台数は前年度を下回る見通し	経済活動の停滞により需要の低迷が継続	経済の低迷により新車の販売台数は前年度を下回る見通し

- 生産計画台数・受注水準は緩やかに減少傾向が続く見通し
- 鉱山機械需要及びメンテナンス需要は継続して堅調な需要環境を維持

主要建機メーカー合計生産実績・計画（四半期推移）

※主要6社10%以上



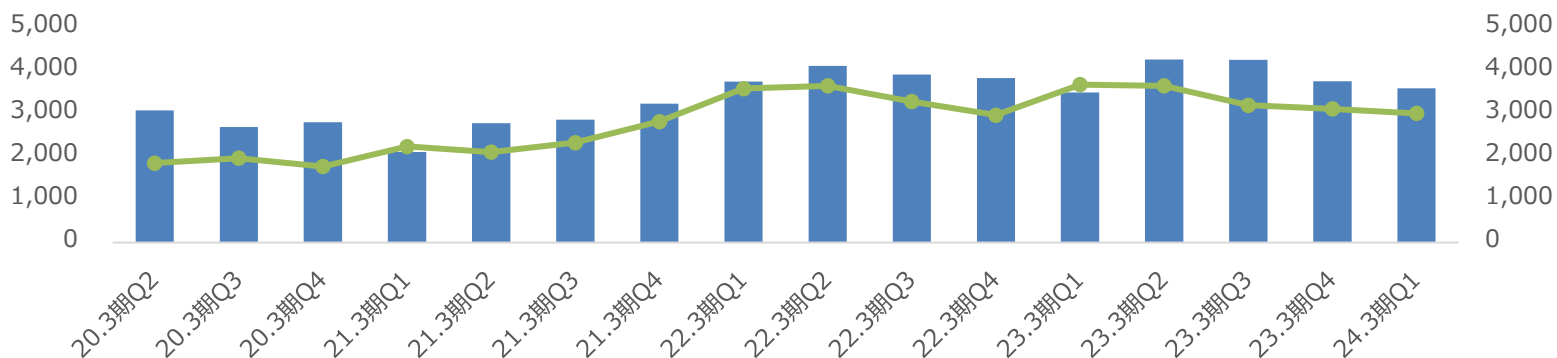
新車需要は  
物量ベースでは  
緩やかに減少

当社の建機用フィルタ売上高と確定受注残高内示受注残高（四半期推移）

(単位：百万円)

■ 売上高 (左軸)    ● 受注残高 (右軸)

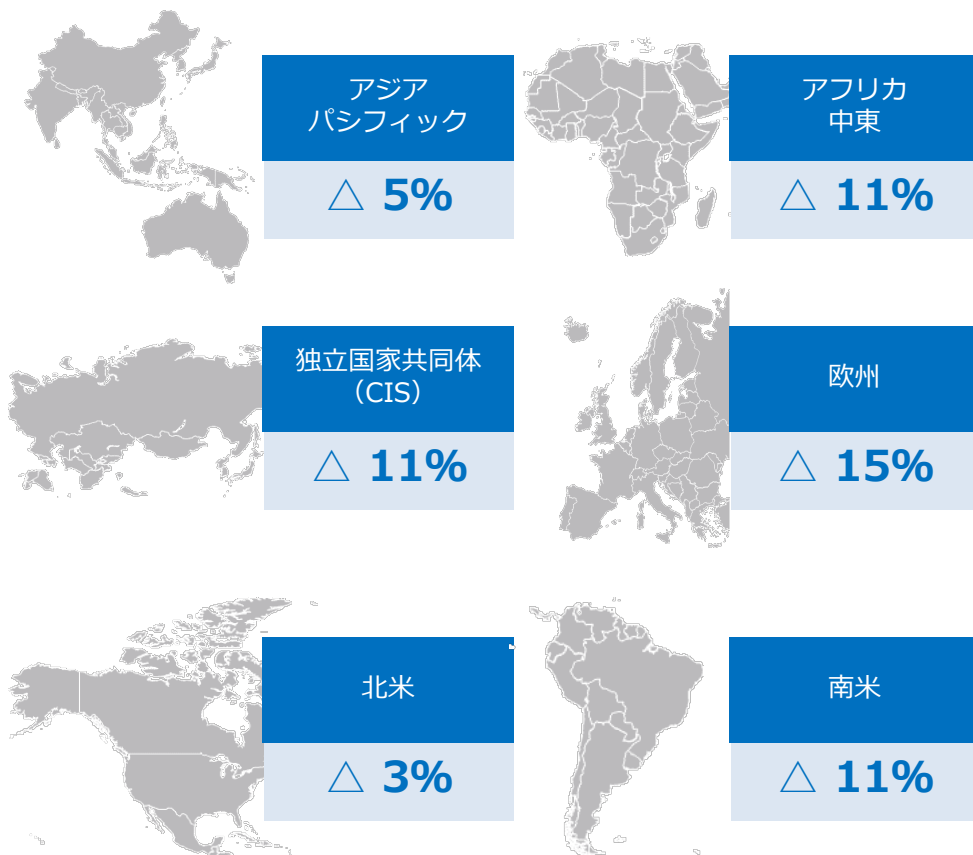
(単位：百万円)



物流リードタイムの  
改善に合わせて  
受注残高は減少傾向

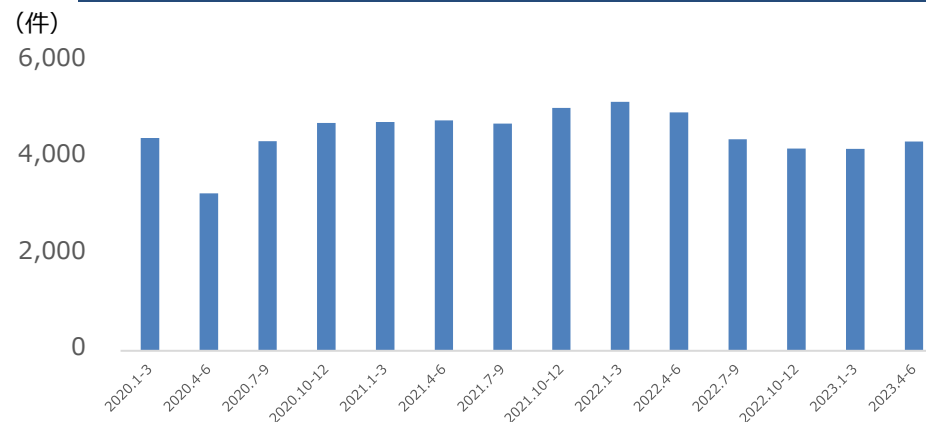
- 前年比マイナス地域が多く、需要は緩やかに減少傾向
- 住宅着工件数（北米）は政策金利も影響して、横這いの状況が継続
- 住宅価格（北米）は23年から上昇傾向のため、需給バランスに今後も注視する

## 地域別 建機需要の動向（指数）



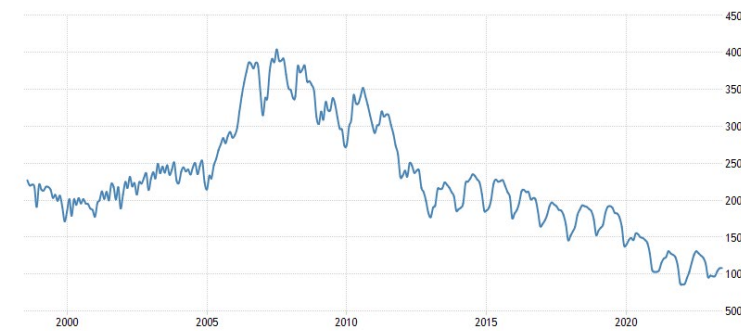
デマンド動向指数（22年対23年予想）

## 北米市場 住宅着工件数の推移



(Bureau of the Censusより当社作成)

## 北米市場 総住宅在庫の推移

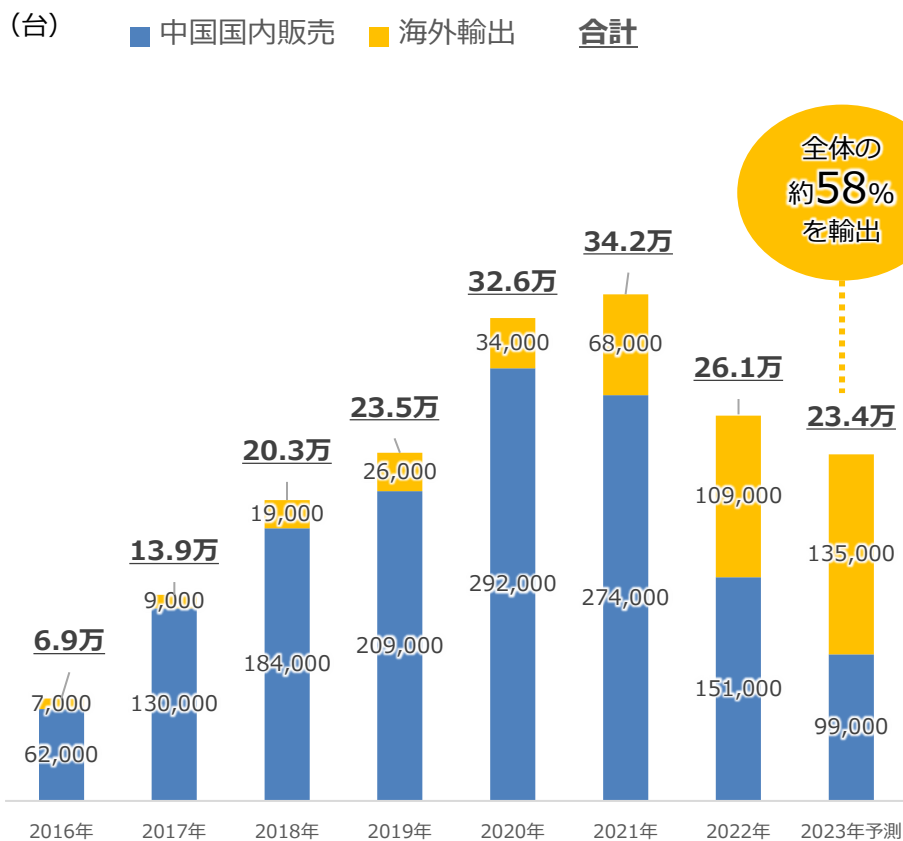


(TRADINGECONOMICSより引用)

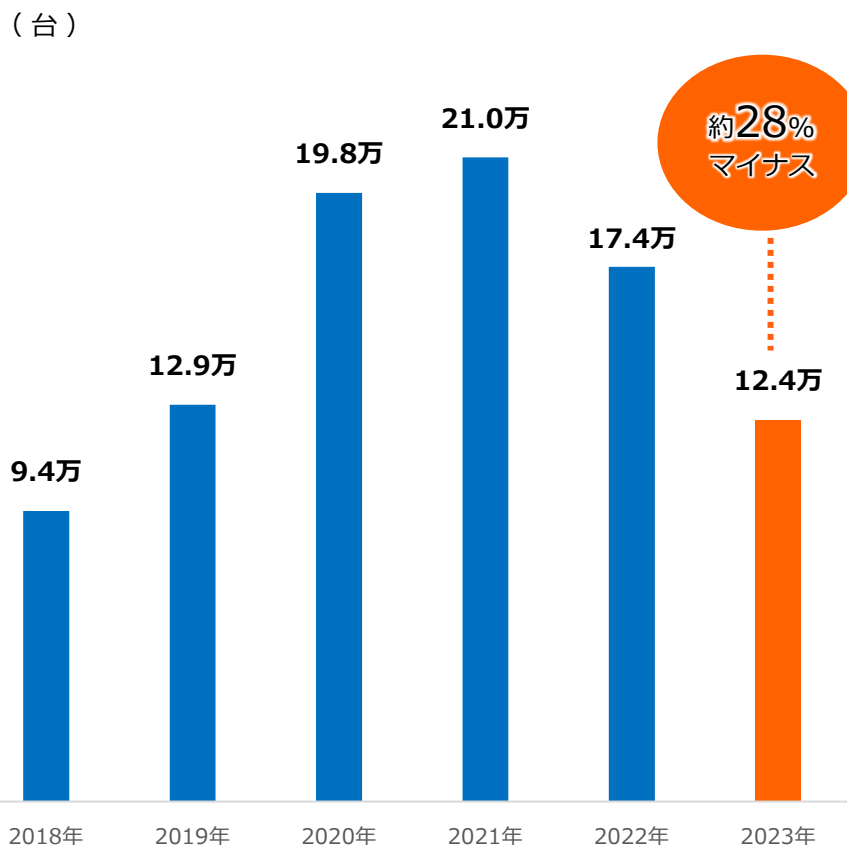
TRADINGECONOMICS.COM | NATIONAL ASSOCIATION OF REALTORS

- 不動産市場低迷の影響で、23年は昨年比より更に10%程度の減少が見込まれる
- 国内需要の回復遅れから、輸出割合はおよそ50%を超える水準に到達する見通し

## 中国年間販売台数推移



## 主要中国建機メーカー5社生産台数（計画）



- カーボンニュートラルを目指す建機業界で、ロングライフフィルタのニーズは高い
- 新素材・新技術によって環境負荷低減に貢献できる製品を当社がいち早く供給

## ロングライフ化に貢献する新規モデル

### ヤマシナノフィルタ®



売上単価は  
既存製品の  
**約2倍**  
中長期的な  
収益の柱



### IoTセンサ



フィルタ寿命や作動油の汚染度をセンサーで測定。フィルタのロングライフ化に貢献するとともに次世代油圧システムの電子制御化に重要な役割

### 多様なラインナップ

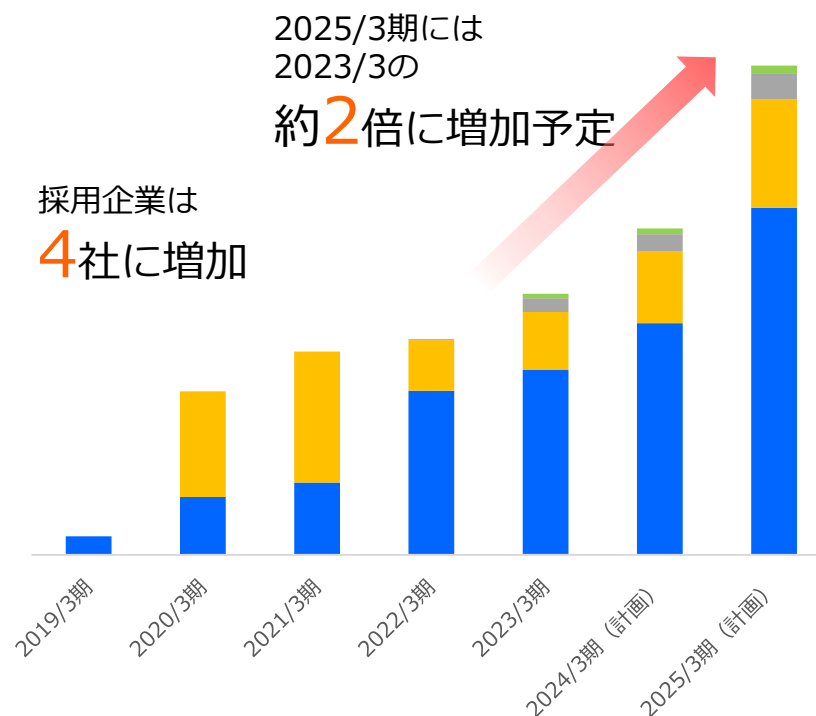


### 様々な部位で採用を予定



## 建機向けヤマシナノフィルタ®出荷推移

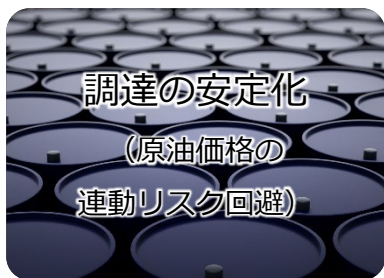
■ A社 ■ B社 ■ C社 ■ D社



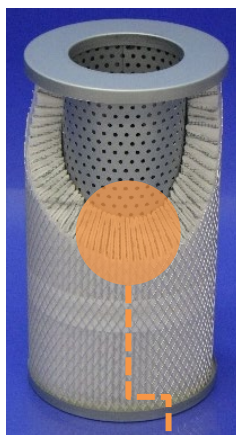
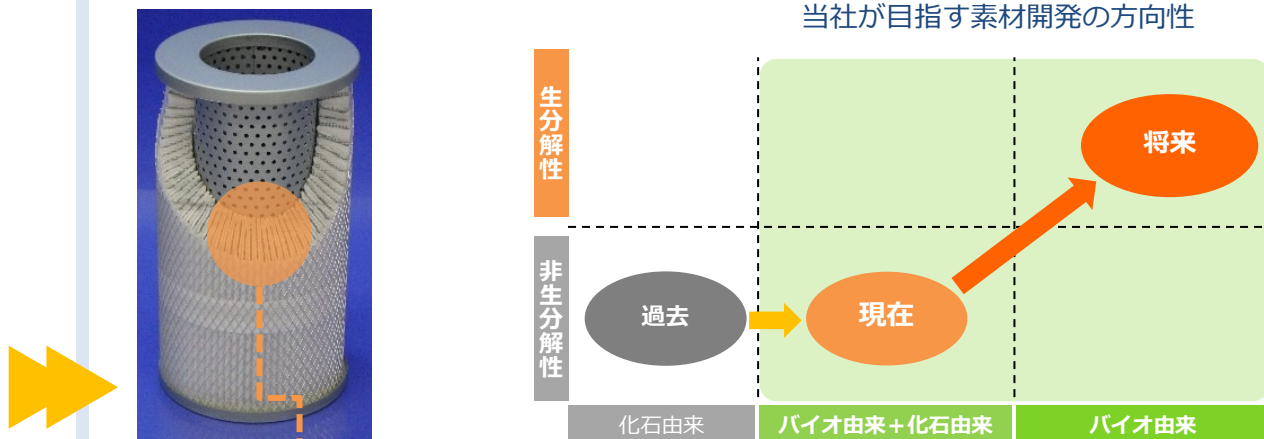


- サステナビリティの観点から、石油由来のPET樹脂に代わる素材の検討が進む
- バイオマスプラスチック・リサイクル樹脂を利用したフィルタ製品の開発が進捗
- 環境負荷の低い生分解性素材の導入に向けて研究開発を引き続き実施

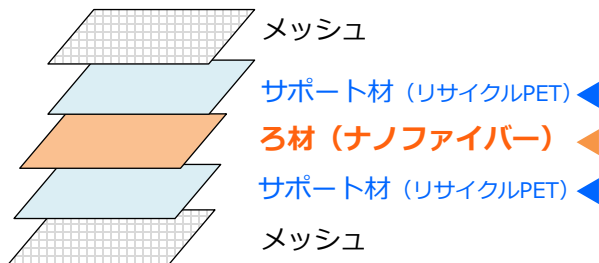
## 取り組むべき課題



## 環境配慮型樹脂フィルタの開発



ろ材構成



## 環境配慮型樹脂フィルタの構造と特徴

ろ材に**バイオマスPET**、サポート材に**リサイクルPET**を使用することで  
フィルタ1本当たり  
約**30%のCO<sub>2</sub>削減**が可能

# “エアフィルタ市場を取り巻く環境”

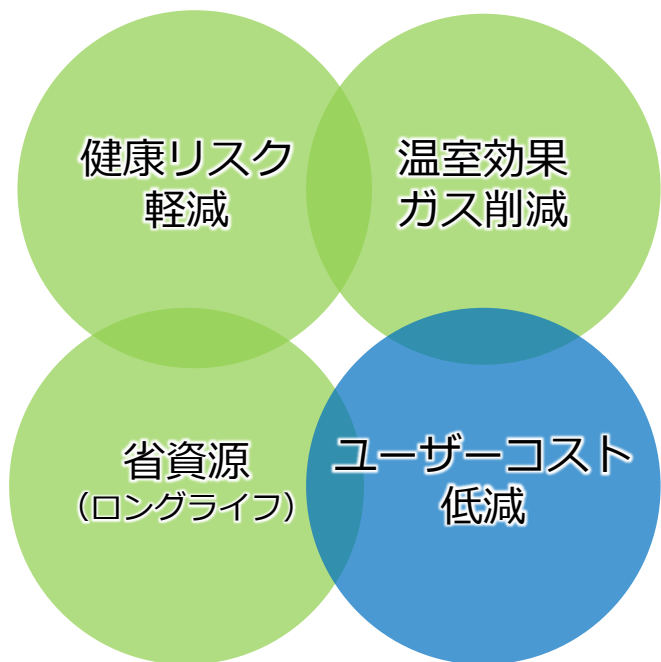
- 各セグメントで安定した需要環境を維持
- ビル建物ではオフィスなどリピート需要の回復が計画通りにスタート
- 一般工場は設備稼働率の上昇に伴って、メンテナンス需要も堅調に推移

	市場概要	市場環境	
		前期	今期見通し
ビル・建物	オフィス・商業ビル等に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	都市部のリピート案件は堅調。地方の買い控え傾向はあるが影響は軽微。	都内の大型物件では、リピート需要が堅調。小型物件も同様に全国的に需要は回復傾向。
一般工場	工場に設置されている外気取入れユニット・屋内空調等のエアフィルタ	大規模案件に回復の兆し。設備投資の引き合いも増加傾向。	大規模物件を中心に需要回復傾向。改修工事も継続して堅調。
半導体工場	ケミカルフィルタの交換市場	引き続き設備投資の堅調な推移を予想	設備投資の一服感から需要は横ばいと予想
環境機器	一般家庭で使われる住宅空調・空気清浄機のエアフィルタ	住宅着工件数の下降は落ち着き回復傾向。	住宅着工件数は緩やかに回復傾向。
車両	鉄道等の空調用エアフィルタ 建機の粉塵用エアフィルタ	コロナ渦も落ち着き公共交通機関の交換需要が回復傾向。	鉄道の利用客回復を受けて交換需要は堅調を維持。

- 空気の品質に関心が高まり、総合フィルタメーカーとしての強みを活かせる外部環境
- 差別化された高付加価値技術で、ユーザーコストに貢献できる環境配慮型製品を供給

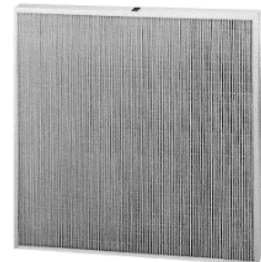
ユーザの意識の変化

CO<sub>2</sub>削減をはじめとする社会課題解決への取り組み  
コロナが変えた空気の「質」そのものへの関心



新製品 **NanoWHELP®**

世界初ナノフィルタ製  
エアフィルタ



製品特徴

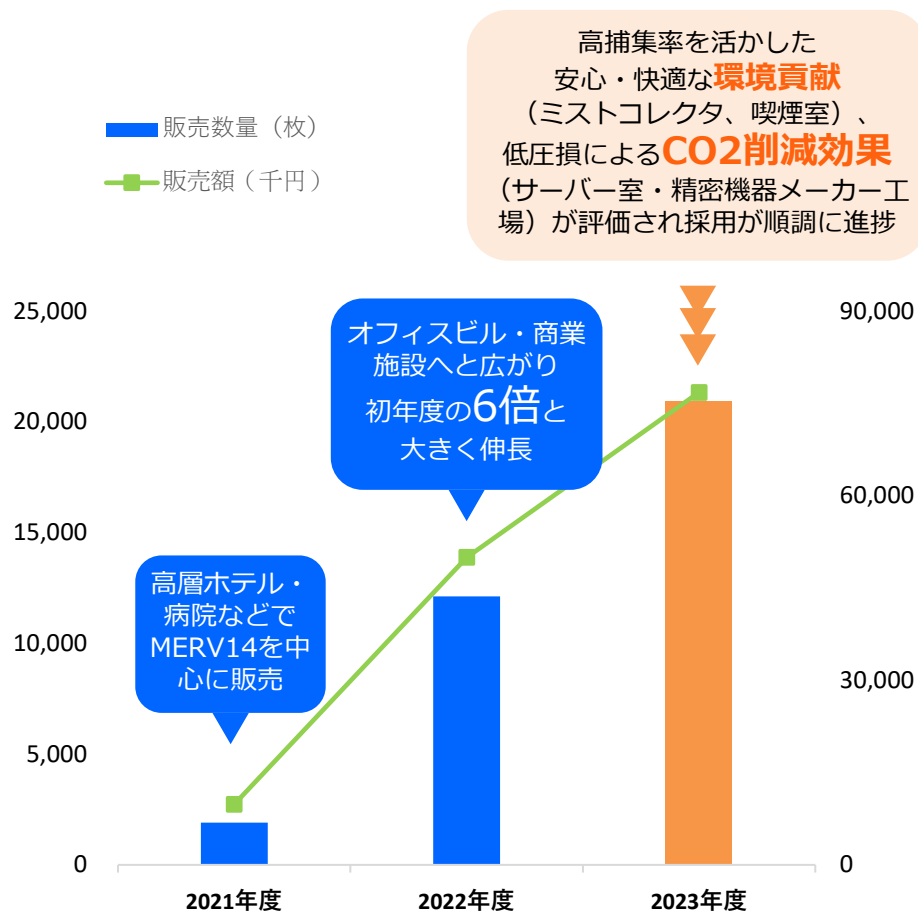
**PM2.5の捕集効率96%**

**初期効率80%以上**

- ヤマシン・ナノフィルタ®の性能を活かし、**持続的な低圧損を実現**
- 日本メーカーの中高性能フィルタで唯一、ビル空調最高レベルの**MERV14を取得済**
- 高性能に加え、**CO<sub>2</sub>削減にも効果的**

- フィルタ性能・環境対応性で高い評価を獲得（米国規格のMERV14を取得）
- 製品リリース3年目の今期、一般空調以外の領域でも環境製品として採用が進展

## NanoWHELP 販売数量・販売実績の推移



## 導入状況

一般空調から環境貢献の分野へ  
データセンター、ミストコレクタ、喫煙室など  
異業種へ展開

### ミストコレクタ (オイルミスト)



工作機械最大手メーカーに採用。高捕集性能と長寿命化により、競合との差別化となり採用。

### データセンター



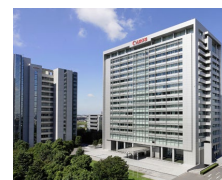
大手ITソリューション事業者のデータセンター。既存メーカー品をグレードアップさせる形で採用決定。

### ネットカフェ (喫煙室)



ネットカフェ業界最大手。全国の500店舗以上に採用。喫煙室だけでなく一般フロアも併せて採用。

### 精密機器工場



都内にある大手精密機器メーカーの開発分野の基幹事業所に採用。

現行品と比較し低圧損であることが採用の決め手。

# 想

## Ⅲ 今後の戦略

# 本業の稼ぐ力の改善

## 適正価格化

### 主要顧客と交渉を継続

- ◆ 昨今の原材料費高騰・円安の影響などを加味し、適正な価格への転嫁を引き続き主要顧客と交渉を実施

## 原価改善

### 開発原価の見直し

- ◆ 設計開発段階での原材料、生産プロセスの見直し、部品共通化を実施

### バリューチェーンの見直し

- ◆ グローバル生産供給体制構築によるサプライチェーン見直し・コスト低減を実施

## 事業構造改革

### 収益管理体制の強化

- ◆ **原価企画委員会（新設）**を設立し、製品および事業収益の管理体制を強化
- ◆ BIツールを導入し原価管理体制を徹底、製品および事業収益の管理体制強化

### グループガバナンスの強化

- ◆ **ガバナンス委員会（新設）**を設立し、グループ全体の経営効率化と統制強化を図る

目指すべきこと  
**サステナブルな社会の実現**

取り組むべきテーマ

健康



空気



環境



事業を通じた強みの発揮

The Specialist in Filtration  
**YAMASHIN**

建機

**ESG** 経営の実践

モノづくりを極める技術マイスター  
イノベーション創出力

エア

**仕濾過事**

ろかじにつかふる



## 建機用フィルタ

既存領域の深耕

高付加価値  
フィルタ

電子制御化  
の推進

貨物鉄道  
農業・産業機械

新規領域の探索

### 建機用フィルタビジネス

#### 高付加価値フィルタ製品展開

- ・油圧用
- ・トランスミッション用
- ・燃料用

#### 次世代油圧システムを見据えた センサーによる電子制御化

#### 新規分野開拓

貨物鉄道用  
農機用・産業機械用

## 濾材開発

### ロングライフ/ 環境配慮型素材開発

- 石油由来のPET樹脂
- バイオマスPETろ材開発
- 生分解性素材開発
- リサイクル循環

## 新規事業領域

### YAMASHIN Nano Filter® を応用した新素材領域への進出



導電性素材

バイオマス  
素材

シート素材

新・耐熱素材

M&A

ろ材

## エアフィルタ

### 営業戦略の強化



代理店ビジネス（多品種/小ロット）

- ・ビル空調用  
（プレフィルタ・中高性能フィルタ）
- 直接販売（高洁净度 HAPA/ULPA）

**NanoWHELP®**













# 目次

参考資料

① 当社基本情報

当社グループは、フィルタのキーパーツである「ろ材」の主な材料であるガラス繊維や不織布及びフィルタの構成部品に使用される金属加工品や樹脂加工品等の仕入を行い、建機用フィルタ、産業用フィルタ、プロセス用フィルタ、エアフィルタを製造しております。また、当社独自に開発した合成高分子系ナノファイバーを用いたオリジナルマスク及び取替用インナーシートの製造・販売を2020年5月より開始しております。

分野	取扱製品	製品イメージ	売上構成 2024年3月期業績見通し
建機用フィルタ	建機の駆動に不可欠である油圧回路の作動油、燃料のディーゼル・オイル、エンジン駆動に必要な潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 様々な種類の建機		
ヘルスケア	合成高分子系ナノファイバーの特性である高捕集性能、密閉性、通気性を活かした高機能マスク、取替用インナーシート 用途: 国内外の一般消費者向け		
産業用フィルタ	様々な業界に応用されている油圧ユニットの作動油や潤滑油のろ過に用いられるフィルタ 用途: 工作機械、冷凍用圧縮機、農業機械、船舶、鉄道車両、航空機やヘリコプター等の産業機械		
プロセス用フィルタ	顧客製品の製造工程で行われるろ過・分離に必要なフィルタ 用途: 電子部品、精密部品、液晶ディスプレイや食品等の業界		
エアフィルタ	粗塵、中高機能のエアフィルタ 用途: 一般ビル、ホテル、各種工場等の除塵・脱臭等		

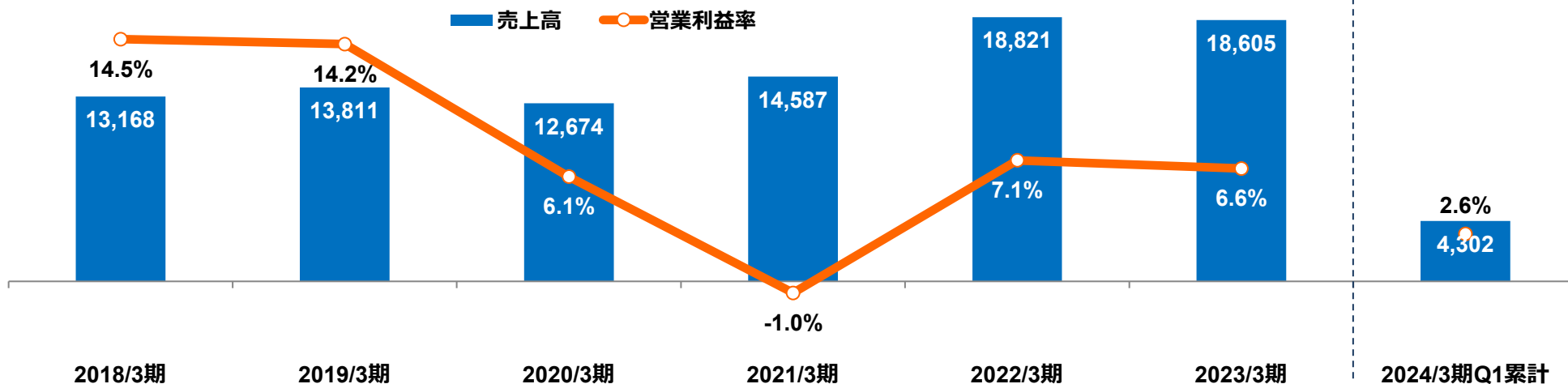
# 選

参考資料

②財務ハイライト

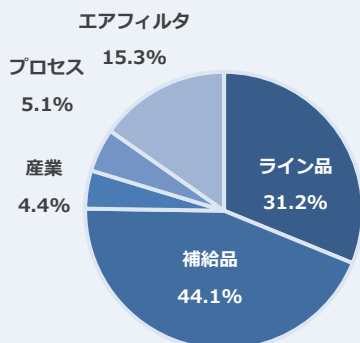
## 売上高・営業利益率推移

(単位：百万円)

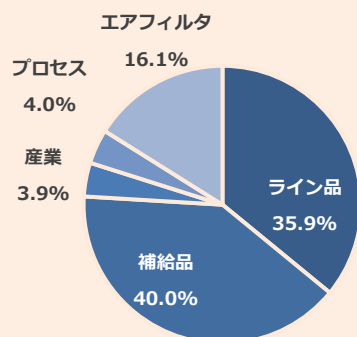


## 製品別売上高

### 2023/3期Q1累計

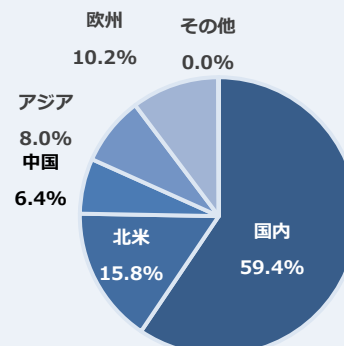


### 2024/3期Q1累計

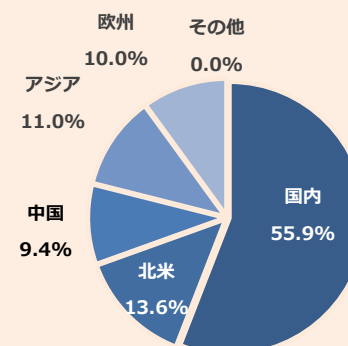


## 地域別売上高

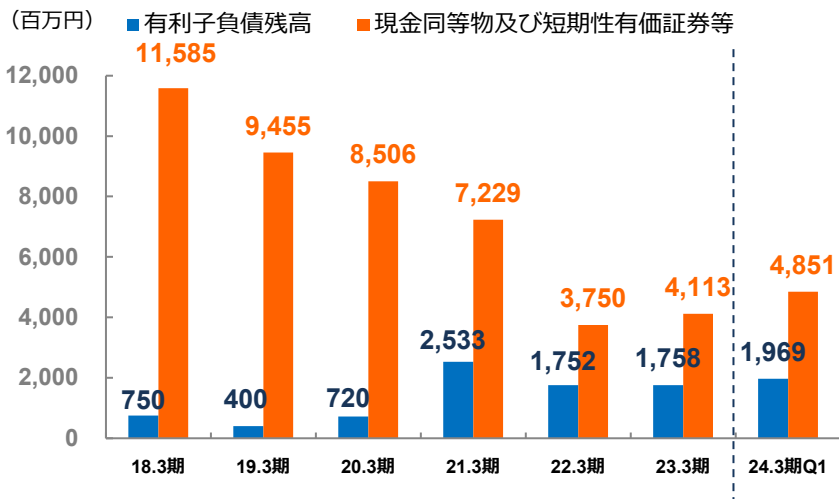
### 2023/3期Q1累計



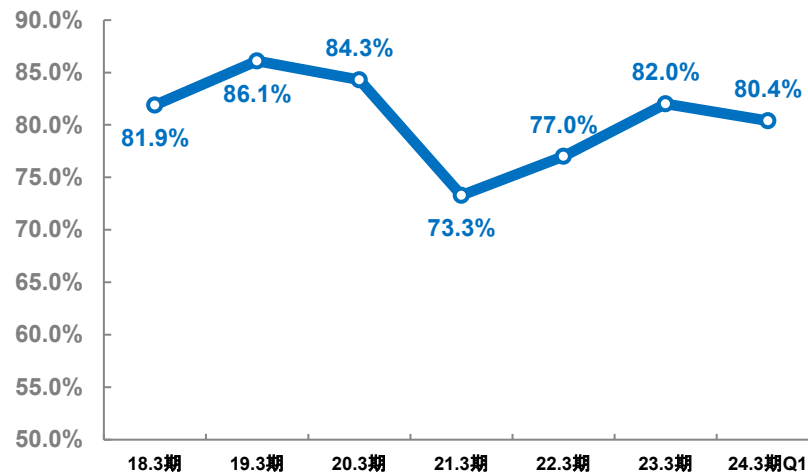
### 2024/3期Q1累計



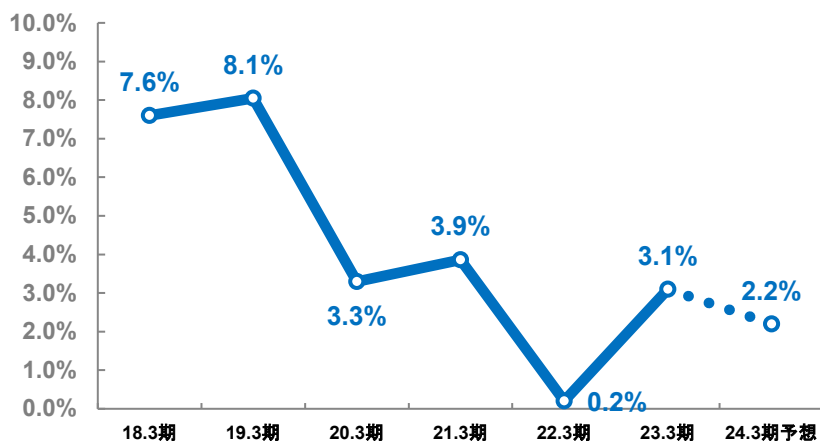
## 有利子負債・現金同等物及び短期性有価証券等残高



## 株主資本比率

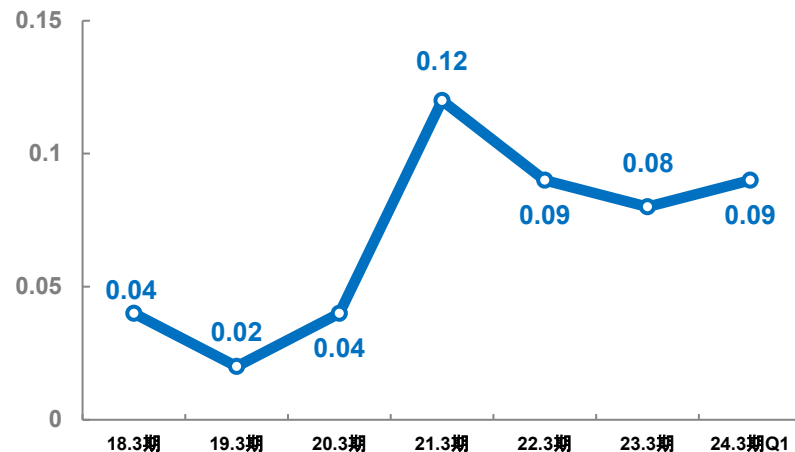


## ROE



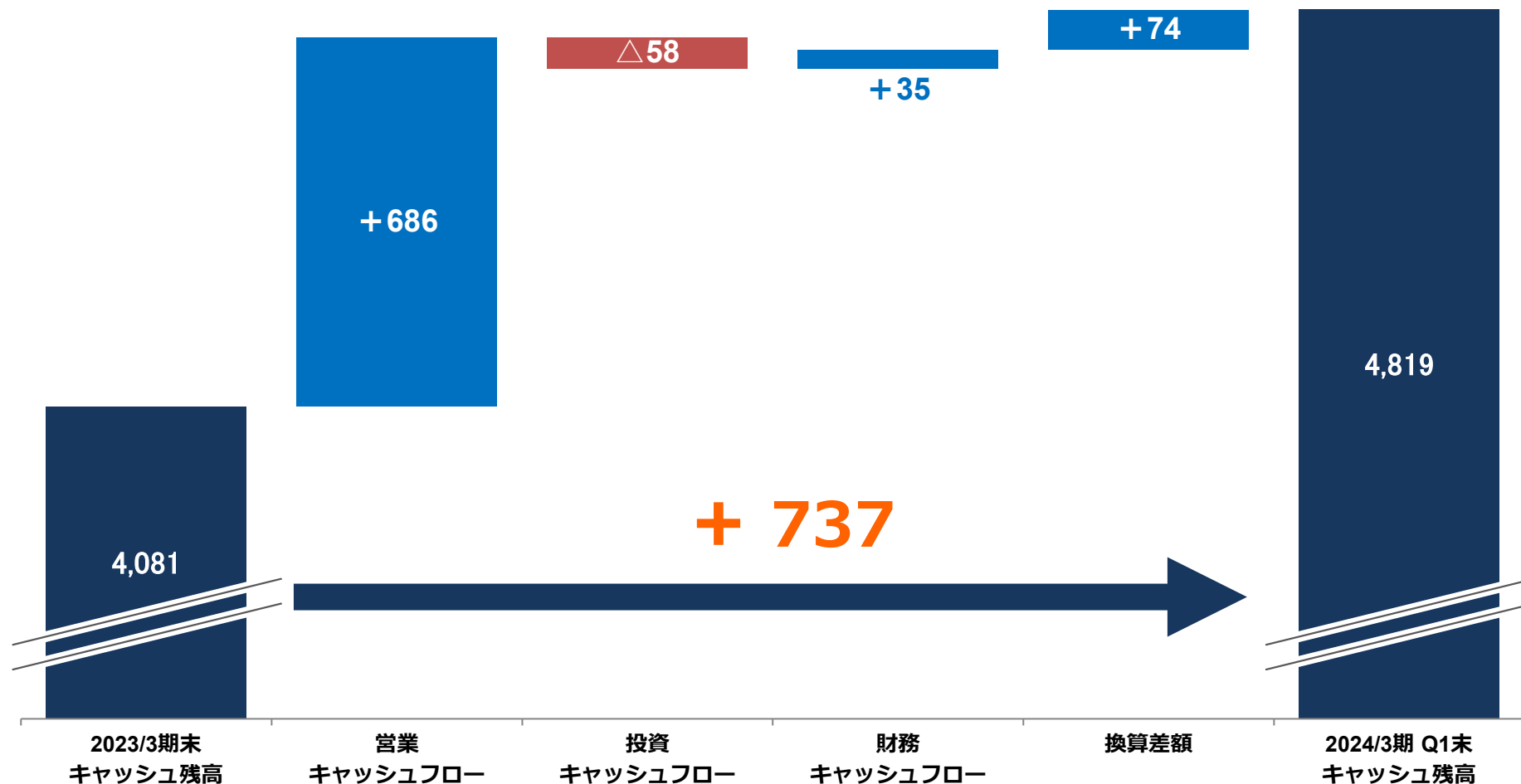
※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

## D/Eレシオ



※18.3期に行った第三者割当増資を過年度より行ったと仮定して計算しております。

(単位：百万円)



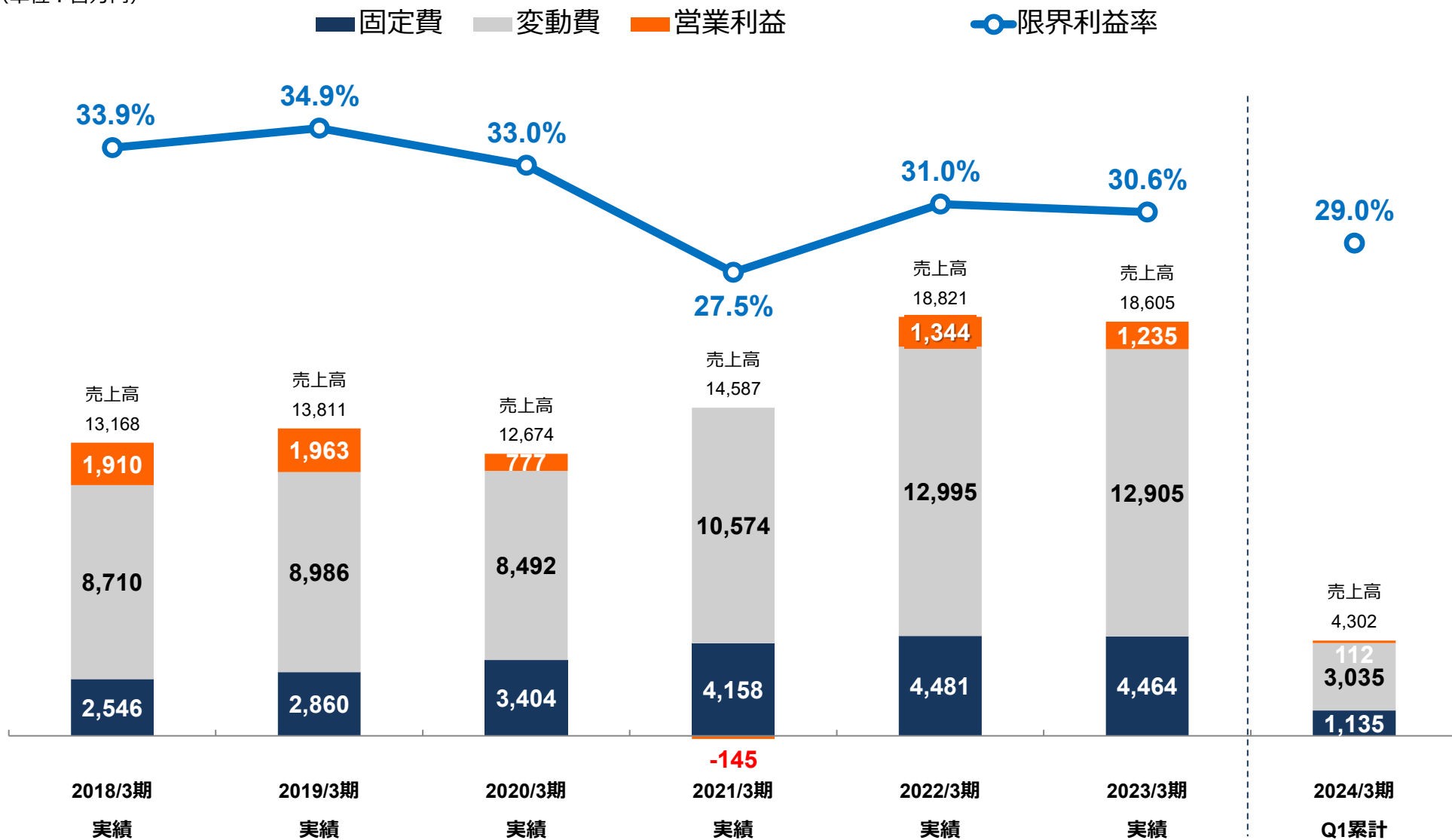
※1年未満に満期が到来する長期性預金(2023/3月期末 32百万円・2024/3月期 Q1末 32百万円)については現金及び現金同等物の期末残高に含めておりません。

(単位：百万)

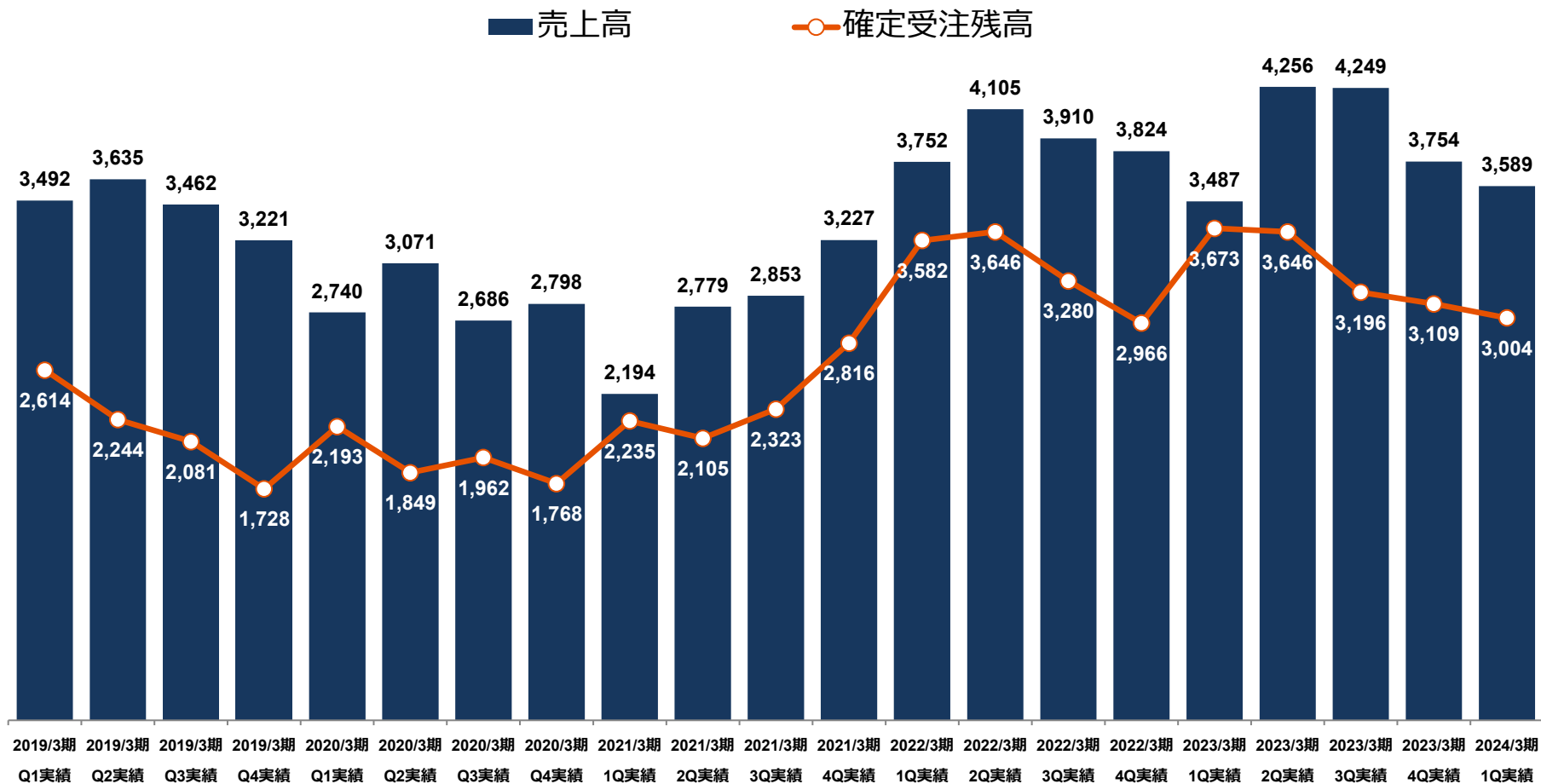
Currency	Incoming		Outgoing		Net	期中 平均レート (JPY)	円高ケース(10%)			円安ケース(10%)		
	各通貨	構成比	各通貨	構成比	各通貨		期中平均 レート △10%(JPY)	レート差額	影響額 (YTD)	期中平均 レート +10%(JPY)	レート 差額	影響額 (YTD)
JPY	¥4,100	64%	¥3,100	55%	¥1,000	-	-	-	-	-	-	-
USD	\$14.2	31%	\$15.4	37%	\$-1.2	¥137.4	¥123.63	¥-13.74	¥16.48	¥151.11	¥13.74	¥-16.48
EUR	€1.6	4%	€1.2	3%	€0.4	¥149.5	¥134.53	¥-14.95	¥-5.98	¥164.43	¥14.95	¥5.98
PHP	PP0.7	0%	PP100.4	4%	PP-99.7	¥2.5	¥2.22	¥-0.25	¥24.63	¥2.72	¥0.25	¥-24.63
THB	฿19.20	1%	฿8.80	1%	฿10.40	¥4.0	¥3.59	¥-0.40	¥-4.15	¥4.39	¥0.40	¥4.15
VND	0.00 đ	0%	45.10 đ	0%	-45.10 đ	¥0.006	¥0.01	¥-0.00	¥0.03	¥0.01	¥0.00	¥-0.03
Total	-	100%	-	100%	-	-	-	-	¥31.01	-	-	¥-31.01



(単位：百万円)



(単位：百万円)



※ 売上高はヘルスケア売上を含めておりません。



この資料に記載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて作成しております  
実際の業績は市場動向や業績情勢等の様々な要因等によって異なる可能性があります

この資料に関するお問い合わせは ヤマシンフィルタ株式会社 広報・IR担当まで

TEL 045-680-1680

E-mail [ir@yamashin-filter.co.jp](mailto:ir@yamashin-filter.co.jp)